

【 アンケート結果の分析 】

設問 1, 2, 3, 5 (主として講義の進め方に関する質問) :

95% 程度以上の受講生が肯定的な回答(「はい」 or 「どちらかといえばはい」)を選んだ。

設問 4 「授業の進み方や内容が適当か」 :

「適切」と答えた受講生が 79%, 「速い・多い」と答えた受講生が計 21%。

設問 6 「質問の機会をつくり、答えているか」には 100%,

設問 7 「教員の熱意を感じるか」には 90% の受講生が肯定的な回答をした。

設問 8~10 (受講生自身の講義への取組み方に関する質問) :

ほぼ例年通り。どの授業でも、受講生は教員には優しく自分には厳しい傾向がある。

それでも、肯定的な回答が 79~89% であった。

設問 11 「新しい知識や考え方を身につけたか」 :

89% の受講生が肯定的な回答をした。

以上のことから、設問に対する回答からは、特に改善を要する項目は見つからなかった。

自由記述欄中で、授業改善に役立つようなコメント :

(1) ディスカッションについてですが、個人的には基礎分子生物学のときのような形式の方が気軽に質問しやすかった。名出しではなく匿名でも質問や解答ができればもっと参加しやすい気がする。

>>> 1 年次には、まず何よりも「質問できるようになる」ことを最優先にしました。その経験を通じて、大抵のことは「こんな質問、してもいいんだ」と安心できたはず。その自信を胸に、2 年次以降はみんなの前で堂々と意見が言えるようになってほしいと思っています。なので、名前は隠しません。3 年次には授業の内容についてもっと議論できるようになってもらいます。4 年次には教員の発言に対して「それは違うんじゃないですか？」と言えるようにまでなってください。4 年次は卒業研究中ですから、自分が行っている研究については、教員よりも自分の方が詳しいはず。できるはず。いまはそこに至る途中の第二段階です。

とにかく、質問することへの抵抗をなくしてほしいのです。雑談のように質問してほしいし、友だちに言うように意見してほしいのです。一瞬の躊躇もなくね。

(2) moodle を活用した学生間のディスカッションは新しい試みで面白いと思うので今後も継続してほしいが、授業の復習という観点からは昨年度のような課題プリントがあった方が毎回の授業の要点をしっかりと復習できるので、任意提出でもよいのでそのようなプリントがほしいです。現在、毎回の授業で学んだことをアウトプットする機会がないので、本当に内容が自分に身についているのか分からない状況です。

>>> 「プリント」ではありませんが、Moodle 上に復習問題を載せてみました。任意提出ということにします。提出した人にはわずかですが加点もします。また、完了したレポートには必ずコメントを書きます。是非使ってください。

【 アクションプラン 】

(1) 任意提出の宿題(予習と復習)を課す(Moodle を用いる)。

